

平成23年9月21日

新潟市建設工事入札参加者 各位

新潟市水道局
技術部管路課
業務部財務課

質疑内容の訂正について

「債管広23第2号 配水管幹線布設工事」の積算書について、質疑の回答（平成23年9月8日・9月12日）を下記の通り訂正します。よろしくお願いたします。

記

管理番号	質 疑 事 項	回 答
	質問15について 上記同項目において、滑材の詳細（構成内訳と単価出典元）と使用量をご教示ください。	【平成23年9月8日開示】 回答15について （誤）滑材構成は推進工法用設計積算要領 泥水式推進工法編2006年改訂版の裏込注入材配合（参考）の表に準拠し、単価はセメント・コンクリート混和剤・ベントナイトは新潟市土木工事設計単価表平成23年4月30日以降適用）から出典し、分散材・目詰材は建物資料より出典です。水は無代です。 使用量は平成22年度新潟市積算基準4 下水道管路施設（推進工法）編 裏込めの「1m当り裏込材注入量」と「8時間当り裏込日進量」で算出となります。 ↓ （正）滑材は泥水用CMC相当を、新潟市積算基準の1m当りの注入量を掛けた配合です。

質問36について
河川部地盤改良工→土工→高圧噴射攪拌工（各部注入工）の注入材の詳細と単価出典元、及びそれぞれの注入量をご教示ください。

質問63について
道路部推進工→管工→中詰工内の「充填工」において、I7-ミルクの単価または単価出典元をご教示ください。

質問68について
道路部付帯工→土工→作業ヤード設置工内の「土木安定シート工」の安定シート工の詳細と単価出典元をご教示ください。

質問19について
第10号明細表 高圧噴射攪拌工の注入工について、発進立坑底盤部、発進立坑坑口注入部、到達立坑底盤部、到達立坑坑口部それぞれの1本当り注入量及び材料の規格をご教示願います。

【平成23年9月8日開示】
回答36について
（誤）注入材の配合は日本ジェットグラウト協会（第22版）より出典です。
注入材は、発進・到達立坑底盤部はJG-1号で、単価は新潟市土木工事設計単価表（平成23年4月30日以降適用）及び物価資料です。
発進・到達立坑坑口部はJG-2号A配合で、JG-2号は見積もり、混合剤(A)は物価資料です。
注入量は平成22年度新潟市積算基準→高圧噴射攪拌工→三重管工法より算出です。ただし、粘性土 $5 < N \leq 7$ の範囲は、注入の単位作業時間は日本ジェットグラウト協会（第22版）により25min/mです。
↓
（正）～ 混和剤(A) ～

【平成23年9月8日開示】
回答63について
（誤）新潟市水道局単価表平成23年5月期より出典です。
↓
（正）新潟市土木工事設計単価表平成23年4月30日以降適用より出典です。但し、混練水は無代です。

【平成23年9月8日開示】
回答68について
（誤）新潟市水道局単価表平成23年5月期より出典です。
↓
（正）新潟市積算基準 II 共通工 軟弱地盤処理工 土木安定シートの敷設歩掛を適用です。
新潟市土木工事設計単価表平成23年4月30日以降適用より出典です。
土木安定シート 軟弱地盤安定 厚 0.37mmです。

【平成23年9月12日開示】
質問19について
（誤）～ 混合剤(A) ～
↓
（正）～ 混和剤(A) ～

質問90について
第10号明細-高圧噴射攪拌工について、注入材の規格を教えてください。

【平成23年9月12日開示】

質問90について
(誤) ~ 混合剤(A) ~
↓
(正) ~ 混和剤(A) ~